

1-7 自然環境、文化財、観光施設

(1) 自然環境

○海や川、丘陵地の緑等の自然環境に恵まれており、特に市域南部では、植生自然度の高い植生が東西に分布している

本市の西部及び南部は概ね海岸地帯であり、海岸線は31.5kmにわたっています。市域には丘陵地が広がっており、平坦な土地は限られています。

主な河川は、館山湾に注ぐ平久里川、汐入川、蟹田川と、外房、太平洋に直接流れ込む巴川等がみられます。また、市街地部周辺を流れる平久里川、滝川、汐入川、境川は2級河川であります。

植生は、市街地部の周辺の平地に水田雑草群落が広がっています。また、丘陵地には自然度の高いシイ・カシ萌芽林が広がっており、特に市域南部には東西にわたってまとまって所在し、本市における貴重な自然群であるといえます。(図1-7-1)

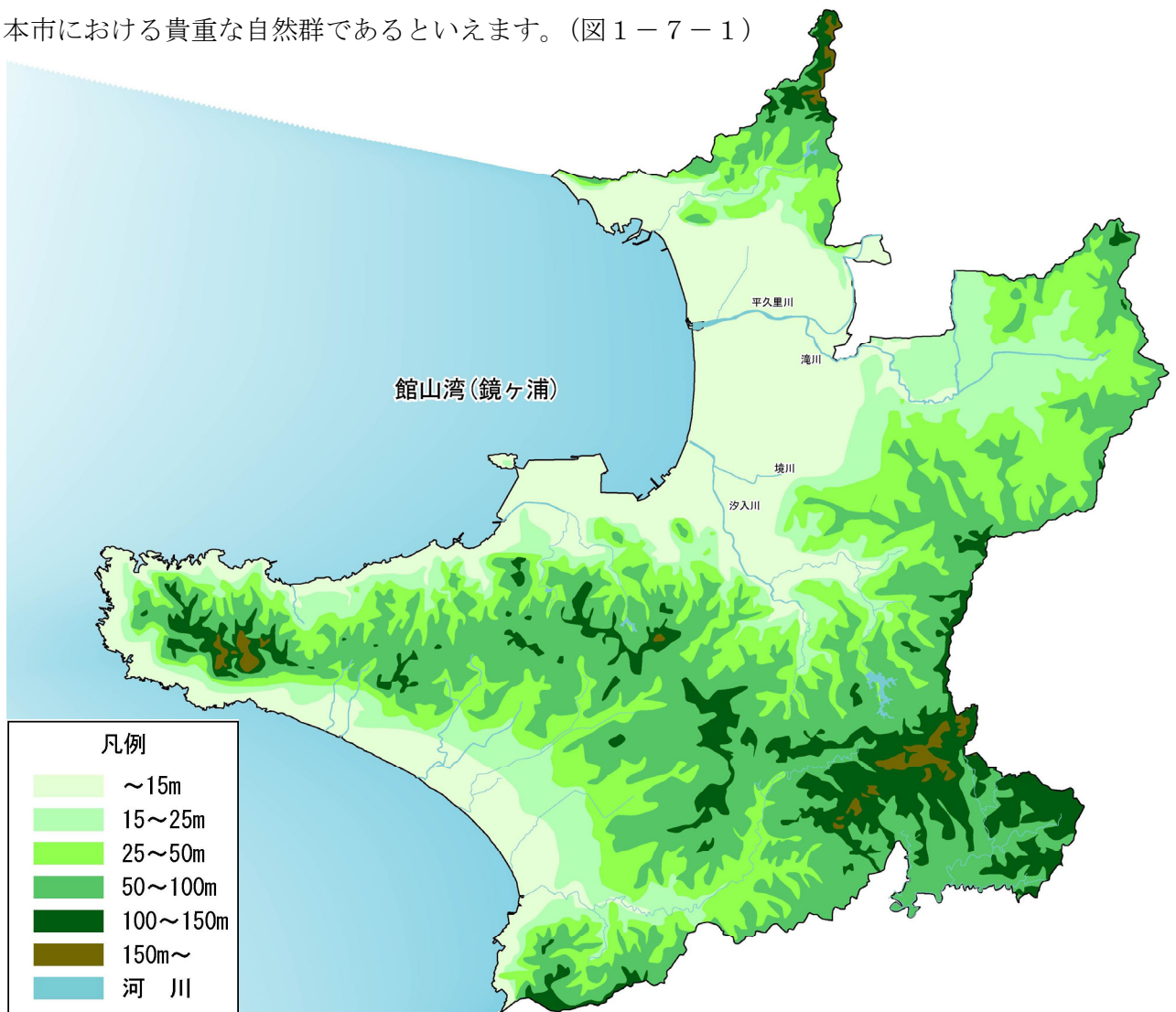
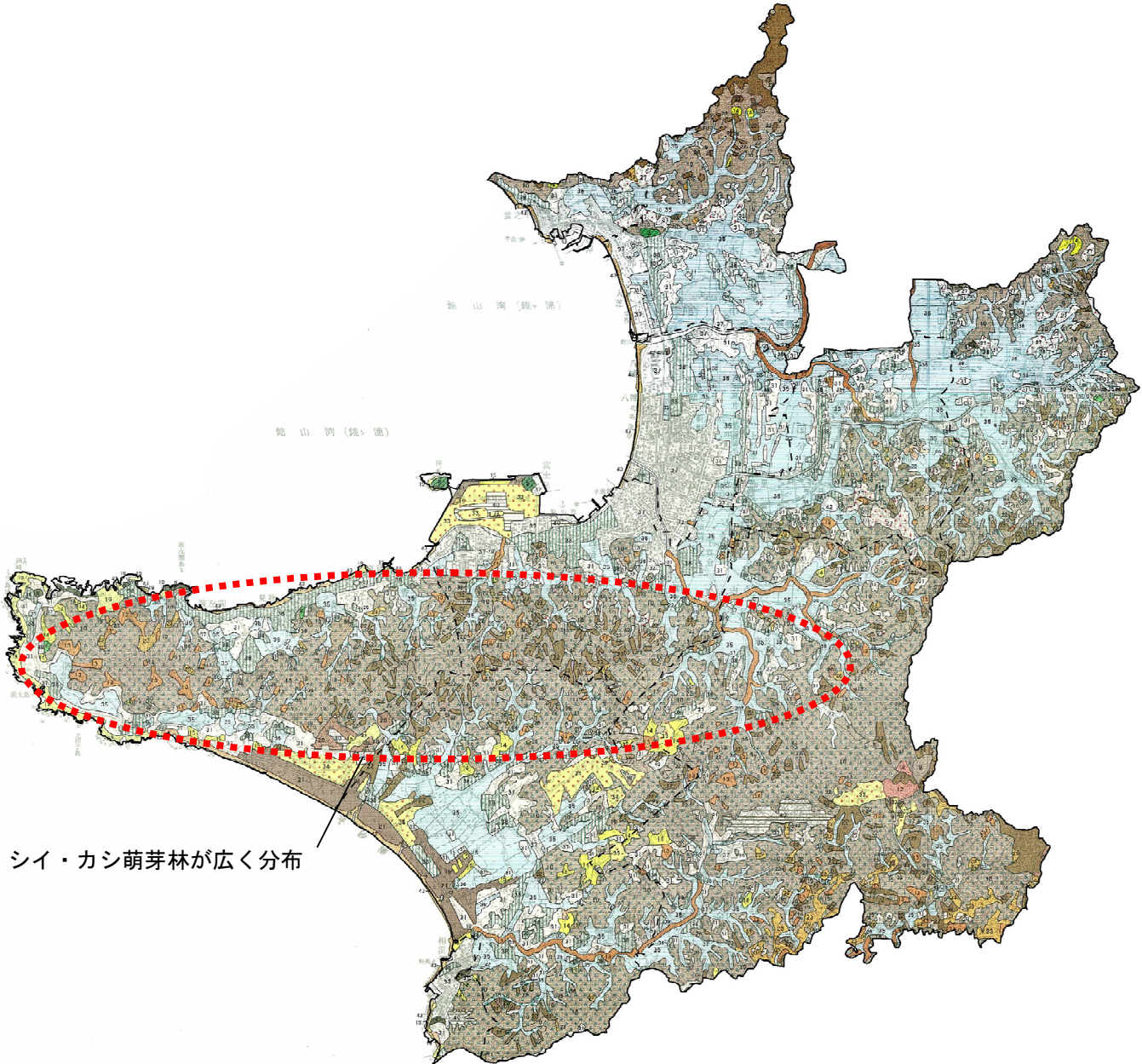


図1-7-1 地勢及び河川位置図

1 広域的位置づけ及び都市の現況特性の整理



シイ・カン萌芽林が広く分布

自然度	群落名	自然度	群落名
	ヤブツバキクラス属自然植生		植林地、耕作地植生
9	モミシキミ群集	6	マツ植林(アカマツ・クロマツ・アイグロマツ植林)
9	スダジイ・ホソバカナワラビ群集	6	海岸砂丘地・クロマツ植林
9	タブ・イノデ群集	6	スギ・ヒノキ・(サワラ)植林
9	トベラ・マサキ群集	6	マテバシイ植林
	ヤブツバキクラス属代償植生	7	竹林(モウソウチク・マタケ・ハチクなど)
7	コナラ群集	3	常緑果樹園(ビワ・ナツミカンなど)
8	シイ・カン萌芽林	3	苗圃
7	オオバヤシャブシ群集	2	畑地雑草群集
4	伐採跡群集	4	休耕畑地雑草群集
5	メダケ群集	2	牧草地(人口草地)・ゴルフ場(人口シバ草地)
5	スキアズマネザサ群集・スキイチガヤ群集	2	水田雑草群集
	川辺・湿原・塩沼地・砂丘植生	4	休耕田雑草群集
10	海岸砂丘群集		その他
10	ハチジョウススキ群集	1	市街地
		2	緑の多い住宅地(公園・墓地含む)
		1	造成地(人口裸地)
		-	開放水域
		-	自然裸地

※植生自然度：植物社会学的な観点からみて土地の自然性がどの程度残されているかを10段階で示した指標

図1-7-2 現存植生図

【出典：現存植生図 第2回調査(昭和54年度調査)】

(2)文化財

○貴重な文化財が市内に広く分布している

本市では、小網寺の梵鐘、那古寺の銅造千手観音立像、県立安房博物館の房総半島漁撈用具、茂名の里芋祭りが重要文化財に指定されているほか、県指定文化財が 23 件、市指定文化財が 65 件あります。また、国登録有形文化財も 6 件あります。

これら文化財の種類は、建造物などの有形文化財が 47 件、無形文化財が 2 件、民俗文化財が 20 件、記念物が 33 件と多岐に渡っており、その所在も広く市内に分布しています。

表 1-7-1 文化財一覧表

No.	区分	種類	名称
1	県指	記天	沼サンゴ層
2	県指	記天	洲崎神社自然林
3	県指	記天	布良の海食洞と鍾乳石
4	市指	記天	オオウナギ
5	市指	記天	沼のびやくしん
6	市指	記天	沼サンゴ層(南条の沼サンゴ)
7	市指	記天	那古山自然林
8	市指	記天	那古寺の大蘇鉄
9	市指	記天	手力雄神社の大杉
10	市指	記天	滝川のびやくしん
11	市指	記天	諏訪神社の自然林
12	国指	有工	梵鐘(弘安九年在銘)
12	県指	有工	小網寺鑄銅密教法具
12	市指	有彫	木造聖観音立像
13	国指	有彫	銅造千手観音立像
13	県指	有建	那古寺多宝塔 附 木造宝塔
13	県指	有工	繡字法華経普門品
13	県指	有彫	木造阿弥陀如来坐像
13	県指	有建	那古寺観音堂 附 厨子
13	県指	有絵	絹本着色僧形八幡像
13	市指	有彫	那古寺木造千手観音立像
13	市指	有絵	歌舞伎大絵馬
13	市指	民有	寺赤組山車
14	国指	民有	房総半島の漁撈用具
14	県指	民有	房総半島の万祝及び紺屋製作用具
15	国指	民無	茂名の里芋祭り
16	県指	民有	神余の弘法井戸
17	県指	民無	洲崎踊り
17	県指	有建	洲崎神社本殿
17	市指	民有	洲崎神社神体髪
17	市指	有書	洲崎大明神縁起
18	県指	記史	安房神社洞窟遺跡
18	市指	民有	狛犬・燧篋・木椀
18	市指	有工	双鳥花草文八陵鏡・双鳥花草文円鏡
18	市指	有考	安房神社高坏
19	県指	記史	鉦切洞穴
19	市指	有考	船越鉦切神社奉納独木舟
19	市指	有工	船越鉦切神社鰐口
19	市指	民無	船越鉦切神社かっこ舞・海南刀切神社かっこ舞
20	県指	有建	大蔵院四面石塔 附 石製水向
20	市指	有書	十二因縁論
20	市指	記史	雄誉上人墓
20	市指	有絵	慈恩大師画像
20	市指	有書	絹本名号本尊
20	市指	有考	元應板碑
20	市指	有彫	慶長十三年紀年肖像彫刻二軀
20	市指	有彫	木造阿弥陀如来坐像

No.	区分	種類	名称
21	県指	無	唐棧織
22	県指	有建	手力雄神社本殿
23	県指	無	綴錦織
24	県指	有彫	木造如来形坐像
24	市指	記史	大神宮義民七人様の供養碑
25	県指	有建	石井家住宅
26	県指	記史	安房国分寺跡
26	市指	記史	安房国分寺跡
27	県指	有建	千葉県立安房南高等学校旧第一校舎
28	県指	民無	安房やわたんまち
28	市指	有考	鶴谷八幡神社棟札
28	県指	有建	鶴谷八幡神社本殿
28	市指	有彫	鶴谷八幡神社百態の竜
28	市指	有工	刀銘「守家」
28	市指	民無	鶴谷八幡神社の筒粥神事
29	市指	記史	館山城跡
30	市指	有書	検地帳
30	市指	有考	坂井翁作古墳出土 環頭の大刀・圭頭の大刀
30	市指	有古	里見氏関係文書
31	市指	有彫	木造阿弥陀如来坐像
31	市指	有工	水晶製六角五輪塔形舍利塔
32	市指	有書	洲宮神社縁起
32	市指	有考	祭祀用土製模造品
32	市指	有彫	木造天部像
32	市指	民無	洲宮神社御田植神事
33	市指	有書	岡嶋家所伝安房忌部系図
34	市指	有彫	磨崖十一面観音立像
35	市指	記史	大寺山巖窟墓及び出土品等
36	市指	民無	藤原神社獅子神楽
37	市指	民無	古茂口獅子神楽
38	市指	有建	千手院宝篋印塔
38	市指	有彫	石造地藏菩薩坐像
39	市指	記史	三義民刑場跡及び墓
40	市指	民有	舎那院山の磨崖佛
41	市指	記史	やぐら
42	市指	記史	孝子塚
43	市指	民無	巖島神社の湯立神事
44	市指	有彫	木造地藏菩薩立像
45	市指	有歴	高瀬家文書
46	市指	有建	応永八年在銘宝篋印塔
47	市指	民無	山萩神社の筒粥神事
48	市指	民無	神余日吉神社のかっこ舞
49	市指	記史	館山海軍航空隊赤山地下壕跡

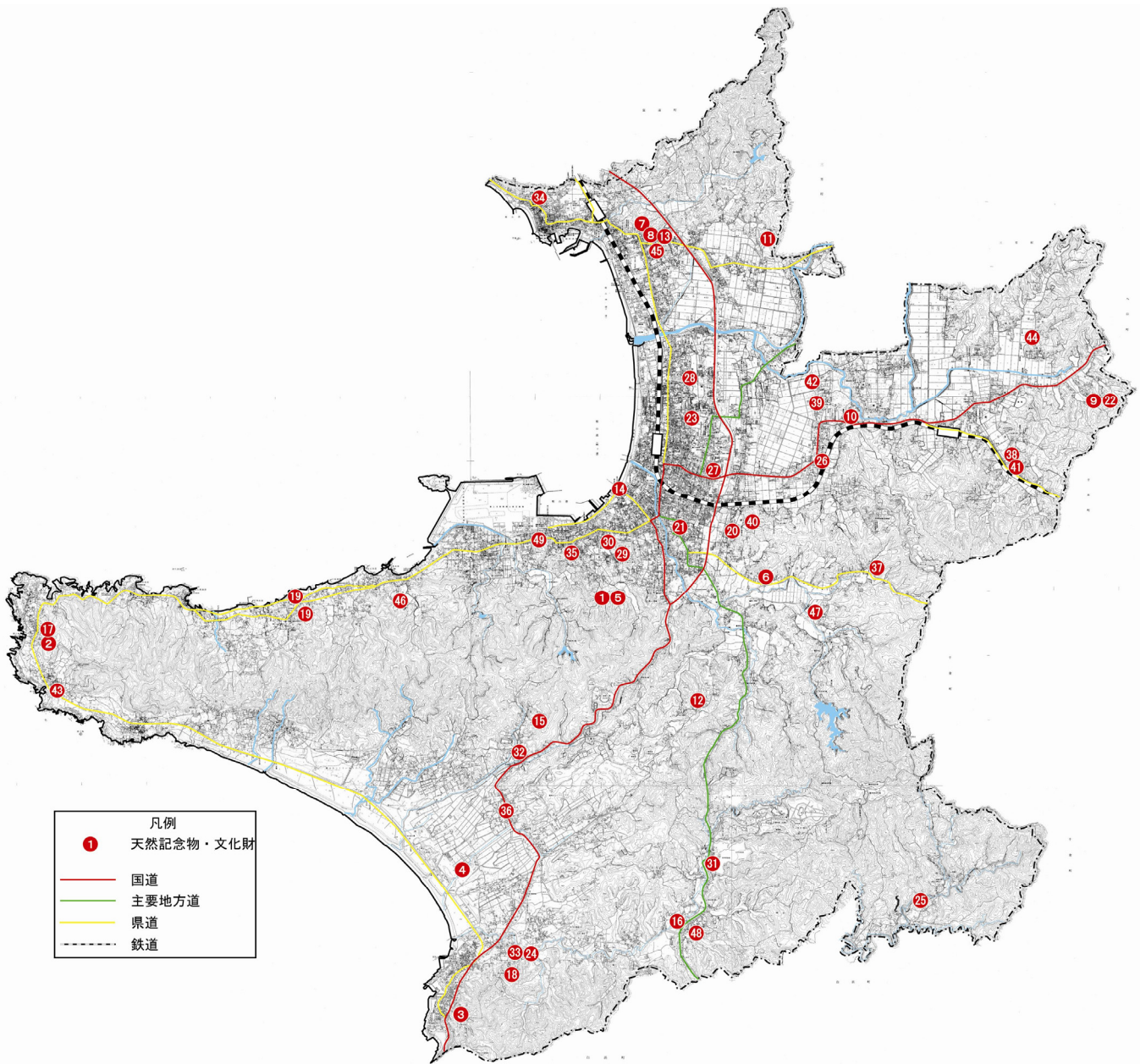


図 1 - 7 - 3 文化財

【出典：館山市HP】

(3) 観光施設

○参加・体験・学習型の観光施設を有し、それらを活用する取り組みがなされている

本市は、江戸時代から社寺参詣者や創作の題材を求める文化人の来訪が多くあり、明治以降は保養地、避暑地、海水浴場、景勝地として観光地の知名度を上げてきました。

近年では、従来の名所見物型から参加・体験・学習型へと変化している観光ニーズを充足するため、もともと市が有している海辺の自然環境、花卉・果物等の農産物、新鮮な海産物、神社仏閣や戦争遺跡などを観光資源として最大限に活用する取り組みがなされています。

表 1-7-2 観光施設一覧表

No.	名称	No.	名称
1	船形海水浴場	31	洲崎神社
2	ふれあい市場	32	館山体験工房
3	崖の観音(大福寺)	33	伊戸だいぼ工房
4	若潮ホール	34	館山カントリークラブ
5	那古寺	35	房総フラワーライン
6	那古海水浴場	36	平砂浦海岸
7	那古海岸	37	館山ファミリーパーク
8	館山市営市民運動場	38	道の駅 南房パラダイス
9	鶴谷八幡宮	39	房州カントリークラブ
10	北条海岸	40	常楽山萬徳寺
11	JR館山駅	41	館山海軍砲術学校跡
12	千葉県南総文化ホール	42	砂山
13	新井海水浴場	43	小塚大師
14	千葉県立安房博物館	44	安房神社
15	沖ノ島(海水浴場)	45	千葉県立館山野鳥の森
16	赤山地下壕跡	46	相浜海水浴場
17	城山公園	47	青木繁「海の幸」記念碑
18	館山市立博物館・八犬伝博物館(館山城)	48	館山観光いちご狩りセンター
19	慈恩院	49	小網寺
20	大賀・香海水浴場	50	館山いちご狩りセンター
21	浜田・塩見海水浴場	51	館山観光いちご狩りセンター
22	船越鉦切神社	52	須藤牧場
23	見物海水浴場	53	国分寺
24	波佐間海岸(海水浴場)	54	大巖院
25	マンボウランド	55	館山ライディングパーク
26	海中観光船	56	ふれあい市場ショップ平砂浦
27	坂田海岸(海水浴場)	57	安房自然村
28	大山		
29	洲崎灯台		
30	養老寺		

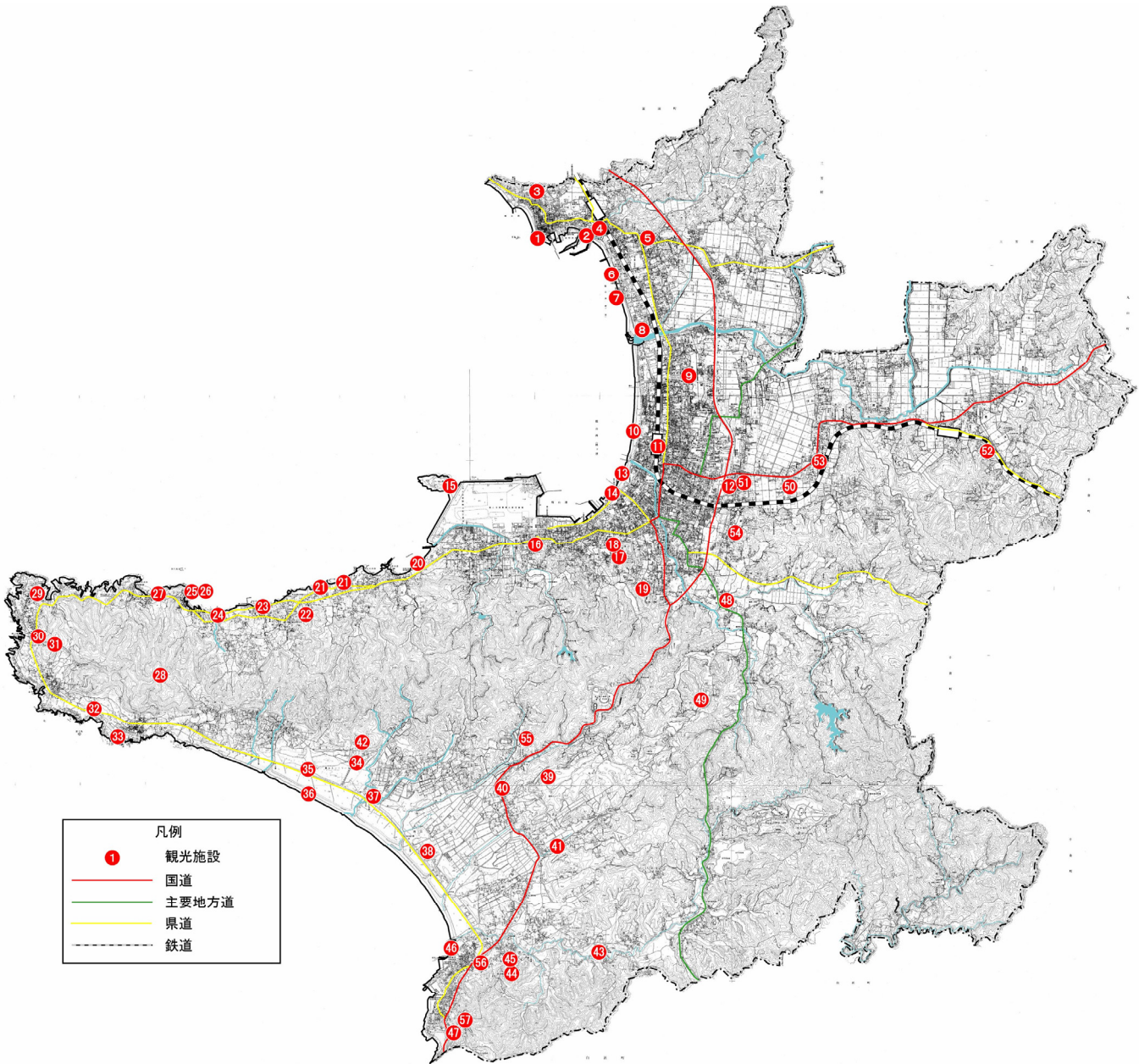


図 1 - 7 - 4 観光施設

【出典：館山市HP】